

「広報・県民運動専門委員会」 第15回会議 次第

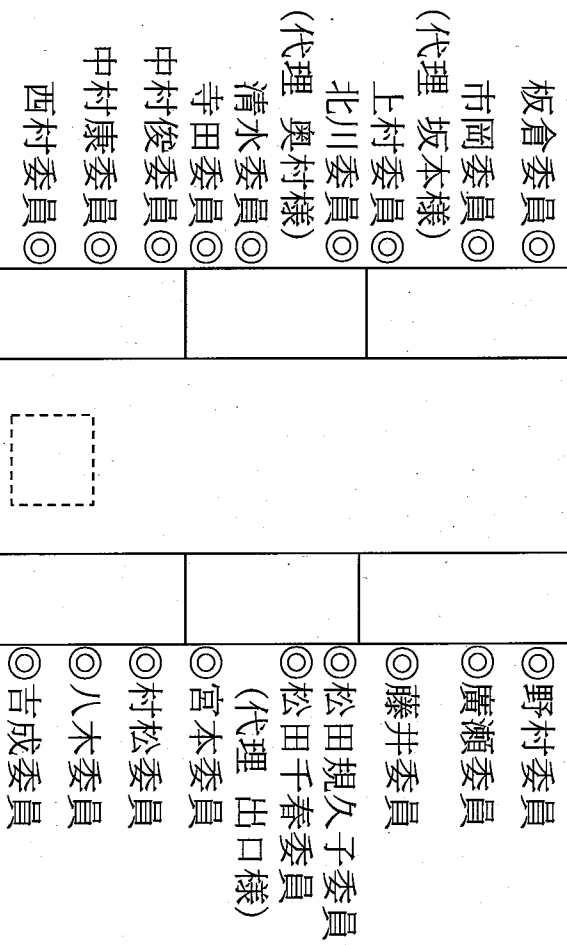
日 時：令和元年9月12日（木）10:00～11:30
場 所：大津合同庁舎7-0会議室

1. 開 会
2. 開会挨拶
3. 審議事項
 - (1) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
県民運動アクションプログラムの方向性について
4. 説明・報告事項
 - (1) 第7回常任委員会・第7回総会での決定事項について
 - (2) 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催内定イベント」について
 - (3) 路線バスラッピングによる国スポ・障スポ発信業務について
5. 閉 会

配 席 図

上田副委員長◎ ◎井口委員長

出入口



記者席

事務局

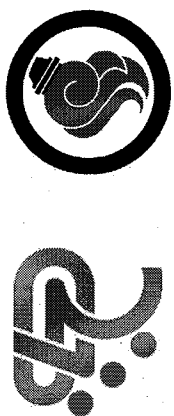
傍聴者席

- ◎川瀬主査
- ◎中嶋管理監
- ◎高木課長補佐

後列
事務局

- ◎沼波主幹
- ◎川原主査
- ◎畑野主事

出入口

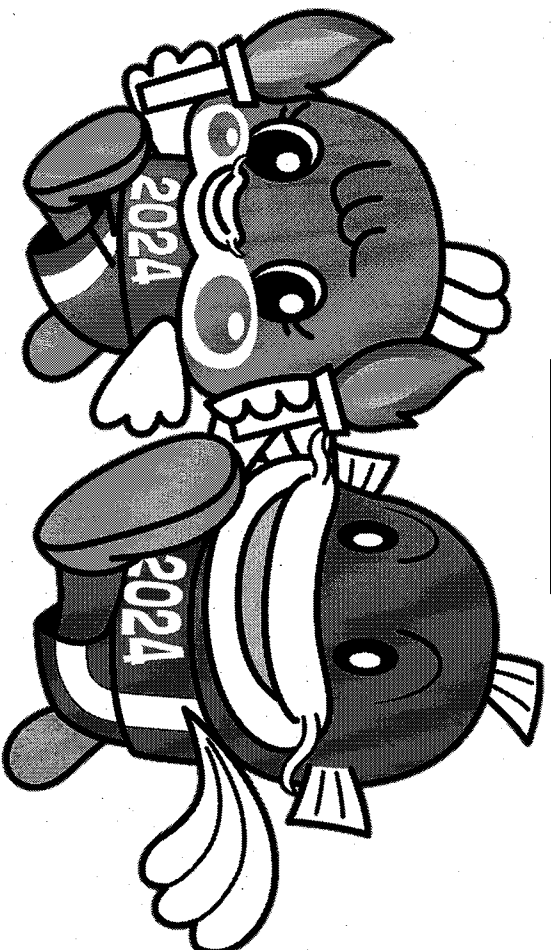


第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

第15回広報・県民運動専門委員会

会議資料



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャットイー

キヤットイー

日時：令和元年9月12日(木)10:00～11:30
場所：大津合同庁舎7-C会議室

「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

番号	分野	所属団体・役職名	氏名	備考
1		日本放送協会大津放送局 副局長	村松 泰	
2		びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 シのぶ	
3	マスコミ	株式会社京都放送滋賀支社 支社長	宮本 英樹	
4		株式会社京都新聞社滋賀本社 編集局 編集部長	松田 規久子	
5		株式会社中日新聞社大津支局 支局長	池田 千晶	今回から 就任
6		株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実	
7	スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 生涯スポーツ担当次長 兼 広域スポーツセンター次長	野村 智洋	
8		滋賀県障害者スポーツ協会 副主幹	吉成 永部	
9		滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長	西村 綾子	
10		社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	北川 肇	
11	経済・福祉・ 観光・社会	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	上田 重和	副委員長
12		公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事 兼 事務局長	東 登志也	
13		滋賀県地域女性団体連合会 副会長	上村 照代	
14		一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎	
15		滋賀県青年団連合会 会長	市岡 新也	
16		滋賀県小学校長会 副会長	中村 康春	
17	学校関係	滋賀県中学校長会 副会長	中村 俊英	
18		滋賀県高等学校長協会 会長	藤井 晃一	
19		滋賀県私立中学高等学校連合会 副会長	寺田 佳司	
20		滋賀県特別支援学校長会	井尻 正志	
21	有識者	同志社大学政策学部 教授	井口 貢	委員長
22		株式会社TMオフライン チューンPRディレクター	馬場 大輔	
23	市町	コミュニケーション・ブランディング chocomaka 代表	廣瀬 香織	
24		東近江市企画部広報課長	高山 幸生	
25	県	豊郷町企画振興課長	清水 純一郎	
26		滋賀県知事公室広報課長	松田 千春	
27		滋賀県総合企画部県民活動生活課県民活動・協働推進室長	板倉 成子	

審議事項

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ県民運動について

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ県民運動とは

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぽう）よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を展開します。

アクションプログラムについて

県民総参加によるわたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催をめざし、多くの県民の皆さんが県民運動に参加できるよう、県・市町および県準備（実行）委員会が行う支援の内容と実施スケジュールを示した県民運動アクションプログラムを策定する。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ県民運動の基本目標（県民運動基本計画より）

- (1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- (2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- (3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

県民運動における役割

【県民】

それぞれの立場で、関係団体、市町準備（実行）委員会、県準備（実行）委員会が推進する活動に自発的、積極的に参加するほか、新たな活動を創出して実施する。

【地域団体、NPO、ボランティア団体、学校、企業等】

会員等に対し県民運動の普及啓発を図るとともに、それぞれの特性を活かした実践活動を企画し実施する。

【市町準備 (実行) 委員会】

県民運動の普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体、県準備 (実行) 委員会等と協力して、地域の特性に応じた市町民運動を推進する。

【県準備 (実行) 委員会】

県民運動の全県的な推進計画を定め、既存の県民運動や市町、マスメディア等との連携を図り、運動の普及・啓発活動を行うとともに、全県的な運動の展開を支援する。

取組の進め方

- (1) 県準備 (実行) 委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、市町準備 (実行) 委員会や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。
- (2) 市町準備 (実行) 委員会は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開します。
- (3) 学校や企業、NPO法人、各種団体等は、それぞれの活動の中でその特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県および市町ならびに各主体の運動に参加・協力します。

本県アクションプログラム策定に向けて

1. アクションプログラムについて

県民運動基本方針・計画を基に取組目標に対して、取組目標に対する「趣旨」、「県・市町・実行委員会ができること」、「県民ができること（事例）」、「実施スケジュール」について明記するもの。

2. 本県県民運動基本計画の取組項目における先催県との比較（県民のみなさんの取組例）

先催県【茨城県、鹿児島県、栃木県】における各項目の具体例を、滋賀県の県民運動基本計画に該当する項目にあてはめ、比較したものを。

(1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

○琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【茨 城】：来場者に郷土料理や特産品をふるまう。

地元の食材を味わう機会を大切にし、茨城の食文化を学ぶ。

【鹿児島】：鹿児島島の食文化を紹介するとともに、郷土料理や特産品でもてなす。

鹿児島の特つ多彩で豊かな自然や景観、個性ある歴史・文化、多様な食材や郷土料理などのすばらしさを再認識し、情報発信する。

来県者に、自然遺産と文化遺産の2種類の世界遺産をはじめとする多彩な地域資源を紹介し、鹿児島の魅力アピールする。

郷土の歴史・文化の普及・啓発等を目的とした文化プログラムへ参加する。

県産の食材や鹿児島島の食文化を学ぶ。

本物の素材にあふれる県産食材を活用したレシピ創作や郷土料理コンテストに参加する。

県産農林水産物の安心・安全をアピールする。

総合開会式・閉会式会場や競技会場、団体関連イベント会場等で、鹿児島の特産品や逸品をPR、販売する。

企業等においては、「かごしまの新特産品コンクール」に参加するなど、鹿児島ならではの特産品や逸品の開発に努める。

【栃 木】：来県者に栃木の食文化を紹介するとともに、郷土料理やご当地グルメ、特産品でもてなす。

豊かな自然や歴史、文化、食などの多彩な栃木の魅力を再認識し、情報発信する。

郷土の歴史・文化の普及・啓発等を目的とした文化プログラムへ参加する。

県産の食材について知るとともに、栃木の食文化を学ぶ。

県産の食材を味わう機会を大切にする。

総合開・閉会式会場や競技会場、大会関連イベント会場等で、栃木の特産品や逸品をPRする。

○福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【茨 城】：該当なし

【鹿児島】：該当なし

【栃 木】：該当なし

○滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。

【茨 城】：該当なし

【鹿児島】：学校や団体で各都道府県応援団を結成し、競技会場で国体選手を応援する。

【栃 木】：該当なし

○手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。

【茨 城】：手づくりの都道府県応援のぼりを作成する。

【鹿児島】：手づくりの横断幕やのぼり旗の製作に協力し、来県した選手団を温かく迎える。

ウエルカム・デコレーション（歓迎装飾）づくりに参加する。

歓迎ステッカー等により、歓迎の気運を盛り上げる。

【栃 木】：手づくりののぼりや案内看板などの製作に協力し、来県した選手団を温かく迎える。

ウエルカム・デコレーション（歓迎装飾）づくりに参加する。

手づくりの都道府県応援のぼりを作成し、競技会場で国体選手を応援する。

○あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な対応等、琵琶湖のよう
さわやかにもてなします。

【茨 城】：来県者に元気にあいさつする。

【鹿児島】：全国から集まる来県者に明るく元気なあいさつをし、笑顔で親切な対応をする。

公共の場でのマナーアップに積極的に取り組む。

おもてなし講習会，研修会に参加する。

【栃 木】：全国から集まる来県者に笑顔で元気なあいさつをし、親切で丁寧な対応をする。

公共の場でのマナーアップに積極的に取り組み、交通安全運動や防犯活動に参加する。

おもてなし講習会等に参加する。

○花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でも
てなします。

【茨 城】：競技会場や沿道をたくさんの花で飾る。

【鹿児島】：かごしま国体推奨花を育てる。

地域（子ども会・老人クラブ等）の花いっぱい運動に参加する。

競技会場や沿道に加え、自宅や学校、公民館等の身近な施設をたくさんの花で飾る。

競技会場，道路・河川・海岸等をきれいにする地域の清掃活動に参加する。

県内一斉クリーンアップ運動に参加する。

【栃 木】：大会推奨花を育てる。

地域（自治会、育成会等）の花いっぱい運動に参加する。

競技会場や沿道、自宅、学校、公民館などの身近な施設をたくさんの花で飾る。

地域の環境美化活動に参加し、ゴミ拾いなどの清掃活動を行う。

総合開・閉会式会場や競技会場の清掃活動に参加する。

○交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【茨 城】：交通安全運動や防犯パトロールに参加する

【鹿児島】：該当なし

【栃 木】：該当なし

(2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「ライノスポーツ」を見つけてみましょう。

○デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【茨城】：県内居住者を対象としたデモンストレーションスポーツに参加する。
開催競技の体験教室などのスポーツイベントに参加する。

地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室に参加し、スポーツや催し物を楽しむ。
県内各地で開催されるスポーツ大会に挑戦する。

【鹿児島】：県内居住者を対象としたデモンストレーションスポーツに参加する。
デモンストレーションスポーツに親しみ、参加者との交流の輪を広げる。

開催競技のスポーツ体験教室やスポーツ・レクリエーションイベントに参加し、スポーツや催しものを楽しむ。

市町村民体育大会や県内各地で開催されるスポーツ大会に挑戦する。

【栃木】：デモンストレーションスポーツに参加し、みんなで楽しむ。

デモンストレーションスポーツに親しみ、参加者との交流を広げる。

○障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：障害者スポーツへの理解を深め、体験イベント等に参加する。

【栃木】：該当なし

○ライノステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツを楽しむ。

スポーツ少年団活動や運動部活動への参加、学校での体力つくりに取り組み。
職場、地域、家庭での健康づくりや体力つくりに取り組み。

指導者や審判員、競技運営員、競技補助員としてスポーツ大会を支える。

【栃木】：自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツを楽しむ。

スポーツ少年団活動や運動部活動への参加、学校での体力つくりに取り組み。
職場、地域、家庭での健康づくりや体力つくりに取り組み。

○両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：該当なし

【栃木】：該当なし

○両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【茨城】：国体ダンスを覚えて踊る

【鹿児島】：学校や地域をはじめとするイベント等において、かごしま国体ダンスを踊り、楽しむ。

【栃木】：学校や地域をはじめとするイベント等において、大会ダンスを踊り、楽しむ。

○両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：競技会場で競技を観戦し、全国レベルのパフオーマンスを体感する。
メッセージボードやかごしま国体ホームページに選手への応援メッセージを送る。

【栃木】：東京オリンピック・パラリンピックの観戦や応援をする。
地域で行われるスポーツ大会などの観戦や応援をする。
競技会場で競技を観戦し、全国レベルのパフオーマンスを体感する。

○地域のスポーツ活動を応援します。

【茨城】：地域のスポーツチームを応援する

【鹿児島】：地域で行われるスポーツ大会やスポーツキャンプを観戦する。
地元のプロスポーツチーム「鹿児島ユナイテッドFC」「鹿児島レブナイズ」や地域のスポーツチームを応援する。

【栃木】：地域のスポーツチームを応援する。

(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなと一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

○ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：該当なし

【栃木】：該当なし

○スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【茨城】：ホームページなどで地域の魅力を紹介する

【鹿児島】：鹿児島の魅力を様々なメディアを活用して情報発信し、来県を呼びかける。
SNSを使って団体の情報を拡散する。

【栃木】：ホームページに選手への応援メッセージを送る。

○子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。

【茨城】：該当なし

【鹿児島】：該当なし

【栃木】：該当なし

○開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。

【茨城】：開閉会式の観覧や、スポーツをテーマとした写真コンクールに参加する。

【鹿児島】：総合開会式・閉会式のオープニングプログラムや文化プログラム等で、鹿児島の誇る文化・芸術を紹介する。
総合開会式・閉会式の式典前演技等や市町村で行う炬火イベント（採火、リレー等）に参加する。
かごしま国体をテーマとしたイベントや写真、絵画、作文コンクール等に参加する。

【栃 木】：総合開・閉会式の式典前演技等や炬火イベント（採火、炬火リレー等）に参加する。大会関係のイベントに参加する。

○両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。

【茨 城】：受付案内や手話、国体PRなどのボランティア活動に参加する

【鹿児島】：総合開会式・閉会式会場や各競技会場等で、受付・案内、会場整理、救護、会場サービス、会場美化、式典運営補助などのボランティア活動に参加する。
総合開会式・閉会式会場や各競技会場等で、手話や要約筆記などのボランティア活動に参加する。

かごしま国体のPR活動を行うボランティア活動に参加する。

【栃 木】：総合開・閉会式会場や競技会場等で、受付・案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助などのボランティア活動に参加する。

総合開・閉会式会場や競技会場等で、手話や要約筆記などのボランティア活動に参加する。
大会のPR活動などのボランティア活動に参加する。

○両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【茨 城】：該当なし

【鹿児島】：手作りの応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。

【栃 木】：競技会場で応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。

○両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【茨 城】：競技会場で選手を応援したり、商店街で国体イメージソング放送する。

【鹿児島】：かごしま国体イメージソングを覚えて、応援や盛り上げに活用する。

【栃 木】：イメージソングを覚えて、応援や盛り上げに活用する。

○募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【茨 城】：公共施設やイベント会場等に設置された募金箱へ募金する。

【鹿児島】：国体募金や企業協賛で、かごしま国体に参加する。

【栃 木】：国体募金や企業協賛で、大会に参加する。

※その他

【茨 城】：スポーツ観戦などを目的とした旅行に出かける。

新たなブランドを開発し、競技会場などで紹介する

【鹿児島】：かごしま国体の愛称・スローガン、マスコミキャラクターを活用した情報発信に努める。
大会期間中はマイカー利用を自粛し、積極的に公共交通機関の利用に努める。
身障者用駐車場の適正利用に努める。

【栃 木】：大会期間中には積極的に公共交通機関等の利用に努め、環境にやさしい取り組みをする。

わた SHIGAKU 輝く 国スポ・障スポ
県民運動アクションプログラム策定について

1 目的

- (1) 県民運動基本計画を実現するための実行計画として作成
- (2) 県民運動基本計画の具体的取組について、県民の取組例、県、県準備（実行）委員会の取組例、市町、市町準備（実行）委員会の取組例に分けて記載するとともに実施スケジュールを記載
- (3) 県民運動に係る市町準備（実行）委員会実施計画策定や全県的な機運醸成に活用

2 策定スケジュール

時期	内容
令和元年8月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各委員に依頼 アクションプログラムの素案を作成にすにあたり、先催県の例との比較資料を事前配布、検討を依頼
令和元年9月12日 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第15回広報・県民運動専門委員会</u> アクションプログラムの素案を作成するにあたり、記載する項目やキーワードについての意見交換。 ○ 庁内各部局への意見照会（1回目） アクションプログラムの素案を作成するにあたり連携可能な取組内容等についての照会
令和元年10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町への意見照会（1回目） アクションプログラムの素案を作成するにあたり連携可能な取組内容等についての照会 ○ 関係団体・県民への意見照会 関係団体へ訪問・聞き取り 県民等にHPで広く意見を募集
令和元年12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第16回広報・県民運動専門委員会</u> 県民運動アクションプログラム（素案）の審議
令和2年1月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町への意見照会（2回目） 専門委員会の結果を踏まえ、県民運動アクションプログラム（案）を市町に意見照会
令和2年2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ 庁内各部局への意見照会（2回目） 市町からの意見を踏まえた県民運動アクションプログラム（案）の意見照会
令和2年3月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>第17回広報・県民運動専門委員会</u> 県民運動アクションプログラム（案）の審議・決定

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
県民運動アクションプログラム策定について

【策定イメージ】

	広報・県民運動専門委員会	県準備委員会	関係団体 県民	庁内各部署	市町 国スポ担当課
8月 下旬 (下旬)	○各委員に依頼				
9月 (9月12日)	●第15回 広報・県民運動専門委員会			○庁内 各部署への 意見照会 (下旬)	
10月			○関係団体や 県民への 意見照会 (中旬) 関係団体を訪問 県民にHPで募集		○市町への 意見照会 (中旬)
11月		素案作成			
12月 (中旬)	●第16回 広報・県民運動専門委員会	案作成			○市町への 意見照会 (中旬)
1月		案修正			
2月				○庁内 各部署への 意見照会 (中旬)	
3月 (中旬)	●第17回 広報・県民運動専門委員会	案作成			

説明・報告事項

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第7回常任委員会における決定事項について

令和元年5月17日(金)にびわ湖大津プリンスホテルにおいて、開催準備委員会第7回常任委員会を開催しました。

当日は委員総数84名のうち、66名の委員が出席され、下記の18議案について、御審議いただき原案どおり議決されました。国体会場地については、今回の国民スポーツ大会正式競技会場地第五次内定で新たに2の競技が決まり、正式競技・特別競技中約9割となる34競技の内定が整いました。

- 第1号議案：第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 専門委員会設置規程改正 (案)
- 第2号議案：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想 (案)
- 第3号議案：第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会 開催準備総合計画改正 (案)
- 第4号議案：第79回国民スポーツ大会 正式競技会場地市町第五次内定 (案)
- 第5号議案：第79回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設変更 (案)
- 第6号議案：第79回国民スポーツ大会 公開競技会場地市町第一次内定 (案)
- 第7号議案：第24回全国障害者スポーツ大会 会場地市町第一次内定 (案)
- 第8号議案：第79回国民スポーツ大会競技施設整備計画 (第1次) (案)
- 第9号議案：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画 (案)
- 第10号議案：第79回国民体育大会 競技役員等編成基本方針改正 (案)
- 第11号議案：第79回国民体育大会 競技役員等養成基本方針改正 (案)
- 第12号議案：第79回国民体育大会 競技役員等養成基本計画改正 (案)
- 第13号議案：第79回国民スポーツ大会 競技用具整備要項 (案)
- 第14号議案：第79回国民スポーツ大会 テモンストリーションスポーツ実施基本方針 (案)
- 第15号議案：第24回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施地基本方針 (案)
- 第16号議案：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本計画 (案)
- 第17号議案：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
 - 医事・衛生基本計画 (案)
- 第18号議案：第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
 - 輸送・交通基本計画 (案)

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 第7回総会における決定事項について

第7回常任委員会終了後、第7回総会を開催しました。

総会には委員・顧問・参加総数342名のうち210名が出席されました。三日月会長の挨拶に続き、調査活動報告として、立命館大学1回生高木瑞希さんから「子ども・若者参画特別委員会（通称ジュニア・ユースチーム）」5期生の活動報告がありました。

5期生は「スポーツの魅力発見！！」をテーマに、まずワークショップや講義、コーチー・ホッケー・フエッシングの競技体験を行い、それぞれの競技の魅力について関係者への取材を行いました。その後、それらの活動を通じて明らかになったことを整理して、競技の普及策として提言がありました。

引き続き、下記の9議案について御審議いただき、いずれも原案どおり議決されました。

第4号議案の準備委員会会則改正（案）が議決されたことに伴い、当準備委員会の名称が「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会」へ変更されました。

第1号議案：平成30年度事業報告（案）

第2号議案 平成30年度収支決算（案）

第3号議案 平成30年度収支補正予算（会長専決処分）

第4号議案 第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会
会則改正（案）

第5号議案 関連規程等の改正（案）

第6号議案 監事の選任（案）

第7号議案 令和元年度事業計画（案）

第8号議案 令和元年度収支予算（案）

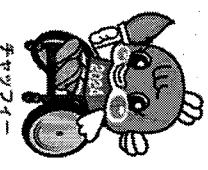
第9号議案 令和元年度暫定収支予算（会長専決処分）平成29年度事業報告（案）

湖国の感動 未来へつなぐ

わたしがSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2024



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催内定イベント」について

1 趣旨・目的

令和6年(2024年)に本県で開催する『わたSHIGA輝く国スポ・障スポ』(第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会。)は、障害の有無を問わず全ての県民が共にスポーツに親しむ環境づくりや、健康の保持増進を通じて健康寿命の延伸を図る契機になるとともに、全国への滋賀の魅力発信や県民が地域に誇りや愛着を持つこと等を通じて滋賀の活力を更に高める契機になると期待されるものである。

両大会は本年7月に開催内定したところであり、この内定を記念した「開催内定イベント」を開催し、大会開催に向けた機運醸成を図ることを目的として、実施する。

2 イベントの時期および場所

時期：令和元年(2019年)11月16日(土曜日)

午前11時～午後4時頃

場所：イオンモール草津(1階セントラルコートおよび1Fレストラコート)

3 概要

【ステージイベント】※順不同。随時休憩を挟む。

○オープニングアトラクション

○主催者あいさつ

○滋賀ゆかりの有名スポーツ選手からのビデオメッセージ上映

○両大会の概要説明(準備状況、愛称・スローガンロゴの説明等)

○大会スロットキヤラクター「キヤツフイー」、「チャツフイー」等による大会に向けた意気込み発表、写真撮影会

○著名人または有名スポーツ関係者によるトークショー

○その他イベントの盛り上げに資する取組(例:国スポ・障スポクイズ大会等)

【ステージイベントの付近で実施するもの】

○スポーツ体験コーナー(屋内で安全に実施可能かつスペース上可能なものを会場施設の状況も踏まえて決定)

候補：スポーツウエルネス吹矢、ポッチャ、ユニカール、eスポーツ

○国スポ・障スポ等PRブースの設置

路線バスラッピングによる国スポ・障スポ発信業務について

両大会の開催を周知し、機運の醸成を図るため、愛称・スローガンを利用した路線バスラッピングを実施する事業者が決定しました。

1. 実施事業者
近江鉄道株式会社
2. 走行期間
令和元年11月1日～令和元 3月31日
3. ラッピングの対象
大津市、草津市等を走行する路線バス1台
4. 完成予定図
別紙のとおり